

(様式2)

地場産物を活用した食育の取組

学校名( 津市立白塚小学校 )

取り上げた地場産物名	キャベツ
産地名	三重県津市
取組方法	(○)授業【教科等: 20分休憩】 ( ) 掲示物 ( ) 集会【 全校 ・ 学年 】 ( ) 委員会【 】 (○)給食指導 (○)給食放送 (○)給食だより ( ) その他【 】

具体的な取組内容

おはなし給食で津市でもとれる「キャベツ」についての絵本を読みました。

本校では、給食に出てくる献立や食材を取り上げた本を読み聞かせる「おはなし給食」の活動を行っています。この活動は図書担当教諭と栄養教諭が協力をして企画をしています。

今回の取組では給食にキャベツを使った和え物が出た日の20分休みに、図書館で図書担当教諭が『大きなキャベツ(岡信子 金の星社 2001年)』の読み聞かせを行うとともに、栄養教諭がキャベツについての話をしました。さらに、給食時には校内放送で同じ本の読み聞かせを行いました。栄養教諭からの話の内容は、キャベツの旬や栄養素について、津市ではキャベツが多く収穫されており給食でも津市産のキャベツを使用するように心がけていることでした。

併せて、津ぶっこ給食として取り入れた「野菜たっぷり豆乳グラタン」を提供した際には津市産のキャベツの啓発するために久居農林高校の生徒がメニューを考案し、給食にも反映させていることを教室での給食指導で知らせました。これは、給食だよりにも掲載しました。



児童生徒の反応等

児童はとても興味深そうにキャベツについての話を聞いており、給食の時間にも料理の中からキャベツを探している様子が見られました。また、キャベツが自分たちの住む津市でとれるおいしい食材であることを知り、うれしそうな表情を見せる児童もいました。

※使用した資料等がありましたら、添付してください。